

14 短く伝える

「それでは最後に一言お願いします」

「え〜、みんな、ご苦労さん、今日の会議でも出たように、我が社では・・・」

と、最後の一言が、30分、1時間続いています。とてもよくあることです。

役職が上になればなるほど、どうしても話は長くなります。

話をしていると、気分はとても高揚します。

自分の言葉に酔ってしまつかのころ、ドンドン興奮して話が長くなってしまいます。

やっかいなことに、長く話せば話すほど、自分の想いは伝わらなくなります。

何のために、長い時間を使って話をしているのか、これではまったく意味がありません。

「短く伝える」

話がどうも長くなるな、と感じている人は、短く伝えることを心掛けてみてください。

長く話すということは、話しながら次に何を話そうか考えているからかもしれません。伝えたいことを自分自身で整理しないまま、話を始めていることはないのでしょうか。

本当に言いたいことを自分自身で吟味しないと、短く話せないものです。

何を伝えたいのか？自分でしっかり把握できたとき、短く話すことができるのです。

短く伝えることを心掛けると、本当に伝えたいことが自分自身で見えてきます。

自分が言いたいことが自分でわかる。短く伝えることの一番の効用ではないでしょうか。

自分の考えや想いを、短く伝えてみましょう。
新たな気づきがきつとあることと思います。

Step1 ■自分で思ったことを書いてみましょう。

Step2 ■皆で話しあって、気づいたことを書いてみましょう。